

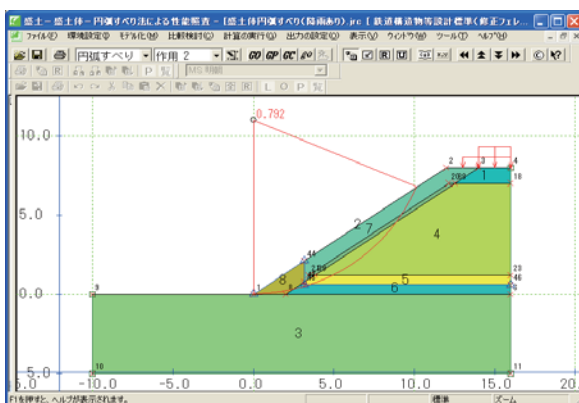
土構造物設計プログラム

【概要】

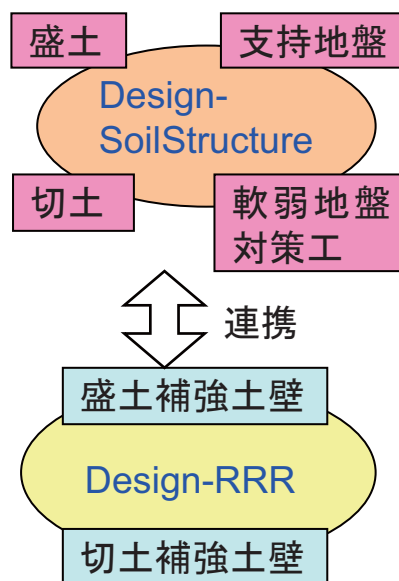
平成19年1月に鉄道構造物等設計標準・同解説（土構造物）が改訂され、性能照査型設計となりました。これに合わせて、設計実務者のサポートツールとして、盛土等の設計プログラム（Design-SoilStructure）を新たに開発し、また補強土構造物設計プログラム（Design-RRR）を更新いたしました。

【特徴】

要求性能に応じた安定や変形の照査ができます。特に、降雨時の安定や凍上の検討など土構造物特有の照査やL2地震時の変形、また支持地盤に関する照査や対策工の検討などが容易に一連のプログラムで行えます。Design-SoilStructureとDesign-RRRで設計標準に示されているほとんどの検討が可能となります。



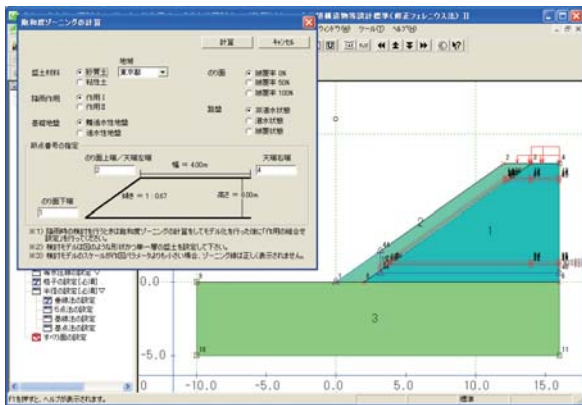
設計プログラムの画面例
(Design-Soilstructure)



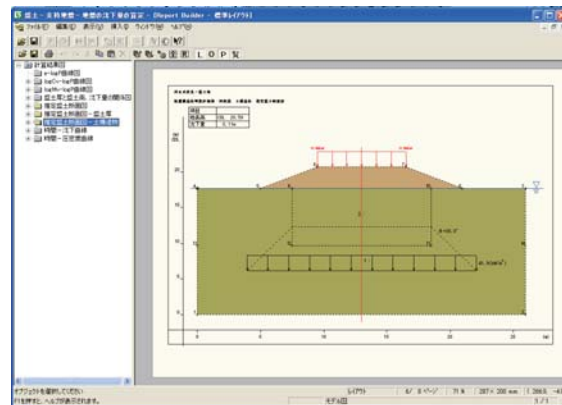
プログラムの設計対象構造物

【用途】

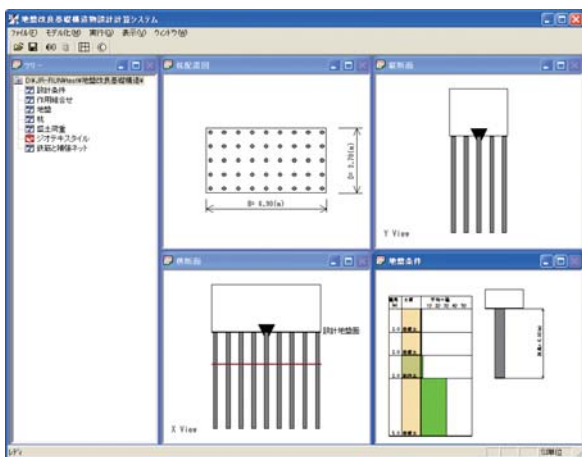
盛土や補強土、地盤改良などの土構造物における性能照査に適用できます。2つのプログラムでのデータ連携もできることから、工法比較や対策工法との組み合わせなど総合的な設計検討に対しても有用です。



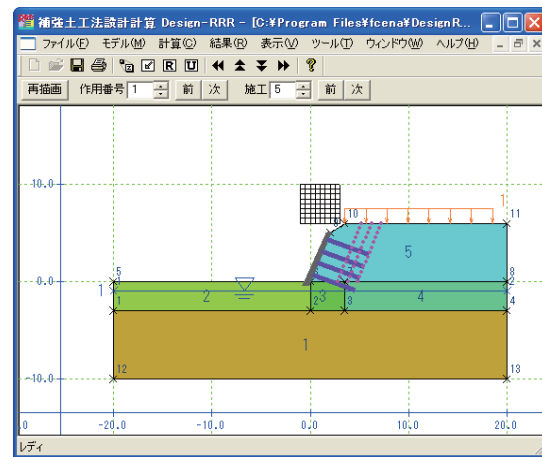
降雨時の検討
(Design-SoilStructure)



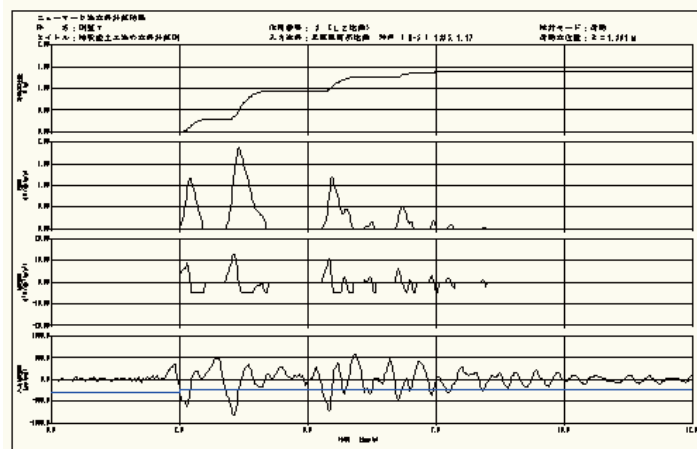
地盤沈下量の算定
(Design-SoilStructure)



軟弱地盤対策工の検討
(Design-SoilStructure)



盛土補強土壁・切土補強土壁の設計
(Design-RRR)



Newmark法によるL2地震時の変形量の算定
(Design-SoilStructure, Design-RRR)